



令和6年3月12日

報道関係 各位

公立大学法人名古屋市立大学 大学院医学研究科
消化器外科学
主任教授・診療部長 瀧口修司
電話:052-853-8226

ベトナム国立がんセンター (K 病院) との ロボット手術技術に関する連携協定締結 — 1 週間で 5 件の高難度ロボット手術を披露 —

名古屋市立大学病院は、ベトナム国立がんセンター (K 病院) と JAPAN-VIETNAM Robotic Laparoscopy Surgery Week (RLSW) を経て、施設間連携協定を締結しました。当院で積極的に取り組んできたロボット手術の確かな技術と広い知識をベトナム国立がんセンター (K 病院) に提供し、両施設間で親交を深めるとともに、ベトナム医療にとっても有益となる大きな一歩と考えています。つきましては、本協定締結を広く知っていただくためにご案内するとともに、今回の活動内容と今後の展望も含めてぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

■ベトナム訪問の目的

令和5年9月に日本とベトナムは外交関係樹立50周年を迎えました。これまでの日本とベトナムの友情関係の中で、医療協力はお互いを発展させる上でも重要な要素のひとつであったと考えます。ベトナム国立がんセンター (K 病院) は、ベトナムにおける主要ながん治療施設として非常に重要な拠点病院のひとつです。ベトナム国内において高度な医療技術とその専門知識を活かして、多くの患者さんに質の高いがん治療を提供しています。しかしながら、現状においてベトナムでは手術支援ロボットを導入したばかりであり、全土で5台を有するにとどまっています。術者およびコメディカルの知識と技量を今後向上させていく必要があります。今回、消化器外科領域において手術支援ロボットに精通し、多くの経験を有する名古屋市立大学病院とベトナム国立がんセンター (K 病院) が連携協定を結び、専門医によってその知識と技術を提供し、今後サポートをすることでベトナムの医療技術の進歩に貢献し、医療水準の向上に結び付けることをその目的としています。



施設間連携協定の締結



瀧口修司教授インタビュー (ベトナム放送局)

■名古屋市立大学病院とベトナム国立がんセンター（K 病院）で施設間連携協定締結

令和6年2月23日、名古屋市立大学病院とベトナム国立がんセンター（K 病院）で施設間連携協定を締結しました。今後、医療専門家間の訪問や交流を含む両機関の協力的取り組みが推進していきます。このパートナーシップは、特に腫瘍学のロボット手術の分野の進歩にとって非常に重要な意味をもち、両施設間の絆が深まっていく証になっていくものと考えています。施設間連携協定締結に際し、ベトナム国立がんセンター（K 病院）Quang 院長より記念品として絵画が贈呈されました。



ベトナム国立がんセンター（K 病院）Quang 院長より
絵画の贈呈



JAPAN-VIETNAM RLSW 案内看板

■ベトナム国内での反響

今回の JAPAN-VIETNAM RLSW の模様は、ネットニュースのみならずベトナム国営放送のニュースとして大々的に報じられました。今回の訪越で施行した手術の模様や施設間連携協定調印式、さらには瀧口修司教授のインタビューが放映され、これまでのベトナム国立がんセンター（K 病院）との交流に加え、施設間連携協定を結ぶに至った経緯、今後の展望について伝えられています。ベトナム国民が注目する中、5 件の高難度ロボット手術を地元外科医に披露し、大きな評価を受けました。



施設間連携協定調印式の模様



ベトナム国立がんセンター（K 病院）で
施行したロボット手術

【取材に関する問い合わせ】

名古屋市立大学病院 経営課経営係

TEL:052-858-7528 FAX:052-858-7537

E-Mail: hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp